第５８回

市政世論調査

（概要版）



令和８年

府　中　市

＜　目　次　＞

府中市市政世論調査について 1
回答者の概要 2
【住み心地】について 3
■ 府中市は住みよいところだと感じるか 3
【住まいの環境】について 4
■ 身近な住まいの環境についての感想 4
【生活の満足度】について 5
■ 現在の生活にどの程度満足しているか 5
【定住意向】について 6
■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか 6
【市政に関する関心度】について 7
■ 市政にどの程度関心を持っているか 7
【市への要望】について 8
■ 府中市に対してこれから特に力を入れてほしいこと 8
【役所窓口の開庁時間】について 10
■ １年間の窓口の利用回数 10
■ 窓口を利用する主な時間帯 10
■ 窓口開庁時間の利用のしやすさ 11
■ コンビニ交付サービスの認知度 11
■ 窓口開庁時間の見直しへの考え 12
■ オンラインや郵送等でできたらよいと思う手続 12
【行政情報の取得手段】について 13
■ 行政情報の取得手段として活用しているもの 13
■ 「広報ふちゅう」の特集記事の閲読状況 13
■ 情報媒体の利用頻度 14
【市民協働の更なる推進】について 15
■ 「協働」という言葉の認知度 15
■ 市民協働推進キャラクター「きょうちゃん・どうちゃん」が印象に残りやすい市の広報や啓発での活用方法 15
■ 「市民活動センタープラッツ」の利用の有無 16
【犯罪被害者の支援】について 17
■ 犯罪被害者や家族に対する国や都道府県が実施する支援等の認知度 17
■ 犯罪被害者等支援を進めるにあたって重要だと思う支援メニュー 17
■ 市独自の支援メニューへの考え 18
【平和啓発】について 19
■ 「平和都市宣言」の認知度 19
■ 「平和」について考える頻度 19
■ 参加したい平和に関する取組 20
■ 平和に関する取組における市に期待する役割 20

【男女共同参画社会】について 21
■ 府中市男女共同参画センター「フチュール」の認知度 21
■ 「女性問題相談」の認知度 21
■ 生理用ナプキンの無償配布の認知度 22
■ 生理用ナプキンの無償配布は安心して生活する上で必要な取組だと思うか..... 22
【スポーツ・運動】について 23
■ １年間に行ったスポーツや運動 23
■ １年間で観戦した、府中市を拠点に活動するトップチーム 24
■ スポーツに関するボランティアにおける考えと活動状況 24
■ 障害者スポーツ（パラスポーツ）に関わった経験 25
■ 郷土の森総合体育館の移転予定の認知度 25
【府中基地跡地新公園】について 26
■ 府中基地跡地新公園の認知度 26
■ 府中基地跡地新公園に期待するもの 26
■ 府中基地跡地新公園を訪れる際の主な交通手段 27
■ 府中基地跡地新公園にあったらよいと思う施設 27

府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今年で第５８回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考とさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「役所窓口の開庁時間」「行政情報の取得手段」「市民協働の更なる推進」「犯罪被害者の支援」「平和啓発」「男女共同参画社会」「スポーツ・運動」「府中基地跡地新公園」についてお聞きしました。

調査の方法

（１）調査地域	府中市全域
（２）調査対象者	府中市内の 18 歳以上の個人
（３）調査数	1,500 人
（４）抽出方法	地点を用いた二段抽出法 （住民基本台帳の登録人口を 11 の地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法）
（５）調査方法	郵送法（郵送配布、郵送・ＷＥＢ併用回収）
（６）調査期間	令和８年５月 15 日（金）～７月７日（火）
（７）回収数（率）	918 人（61.2%）［郵送：433 人　WEB：485 人］

調査の内容

１．居住年数と前住地について
２．住み心地について
３．住まいの環境について
４．生活の満足度について
５．定住意向について
６．市政に関する関心度について
７．市への要望について
８．役所窓口の開庁時間について
９．行政情報の取得手段について
10．市民協働の更なる推進について
11．犯罪被害者の支援について
12．平和啓発について
13．男女共同参画社会について
14．スポーツ・運動について
15．府中基地跡地新公園について

注意事項

本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

（１）百分率（%）の計算は、小数点第２位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答（１つだけ選ぶ設問）に表示された百分率を足し合わせても 100%にならない場合があります。また、複数回答（２つ以上を選んでよい設問）の場合、百分率を足し合わせると 100%を超える場合があります。

（２）図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

（３）本書は、各調査内容における主設問のみを抜粋掲載している概要版です。

回答者の概要

■性別

	回答者数（人）	構成比（%）
男性	392	42.7
女性	504	54.9
回答しない	19	2.1
（無回答）	3	0.3

■年齢

	回答者数（人）	構成比（%）
18～29歳	78	8.5
30～39歳	111	12.1
40～49歳	215	23.4
50～59歳	268	29.2
60～69歳	126	13.7
70歳以上	101	11.0
回答しない	16	1.7
（無回答）	3	0.3

■未婚・既婚の別

	回答者数（人）	構成比（%）
未婚	200	21.8
既婚（離別・死別含む）	674	73.4
回答しない	37	4.0
（無回答）	7	0.8

■職業

	回答者数（人）	構成比（%）
事務職	152	16.6
専門・技術職	221	24.1
労務・サービス職	84	9.2
役員・管理職	58	6.3
商・工・サービス業	20	2.2
自由業	18	2.0
農林漁業	0	0.0
内職・パート・フリーター	124	13.5
家事専業	100	10.9
学生	14	1.5
無職	79	8.6
回答しない	43	4.7
（無回答）	5	0.5

■ライフステージ

	回答者数（人）	構成比（%）
独身期	99	10.8
家族形成期	89	9.7
家族成長前期	108	11.8
家族成長後期・家族成熟期	177	19.3
高齢期	89	9.7
高齢者世帯	100	10.9
その他	228	24.8
（無回答）	28	3.1

■地区

地区名	総人口（人）	対象者（人）	調査数	回収数	回収率（%）	構成比（%）
紅葉丘文化センター	22,592	19,137	127	73	57.5%	8.0%
白糸台文化センター	31,031	26,728	178	114	64.0%	12.4%
押立文化センター	9,451	8,234	55	31	56.4%	3.4%
是政文化センター	23,605	20,307	135	83	61.5%	9.0%
住吉文化センター	27,297	23,362	156	101	64.7%	11.0%
片町文化センター	29,720	25,617	173	106	61.3%	11.5%
中央文化センター	44,753	38,270	257	159	61.9%	17.3%
新町文化センター	25,848	22,206	150	94	62.7%	10.2%
武蔵台文化センター	13,851	11,989	80	51	63.8%	5.6%
西府文化センター	19,399	16,215	108	69	63.9%	7.5%
四谷文化センター	14,498	12,032	81	37	45.7%	4.0%
計	262,045	224,097	1,500	918	61.2%	100.0%

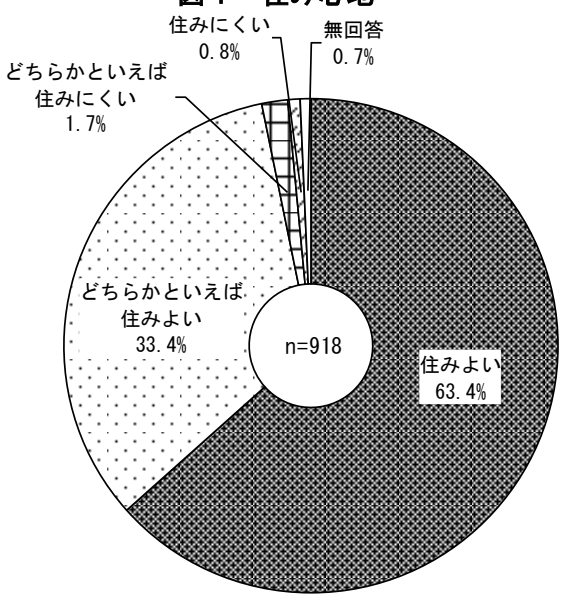
上記対象者は、令和８年４月１日現在で満18歳以上の人口である。

【住み心地】について

■　府中市は住みよいところだと感じるか（n=918）

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、９割半ばを超える方が『府中市は住みよい』と感じている。

図１　住み心地



「住みよい」(63.4%) と「どちらかといえば住みよい」(33.4%) を合わせた『住みよいと感じる』割合は、９割半ばを超えている。また、「住みにくい」(0.8%) と「どちらかといえば住みにくい」(1.7%) を合わせた『住みにくいと感じる』(2.5%) 割合は１割未満となっている。

年代別にみると、『住みよいと感じる』割合は、「50～59 歳」(97.4%) で最も高く、「70 歳以上」(95.1%) で最も低くなっている。

年度別にみると、『住みよいと感じる』割合は、９割台を維持している。

図２　住み心地（年代別）

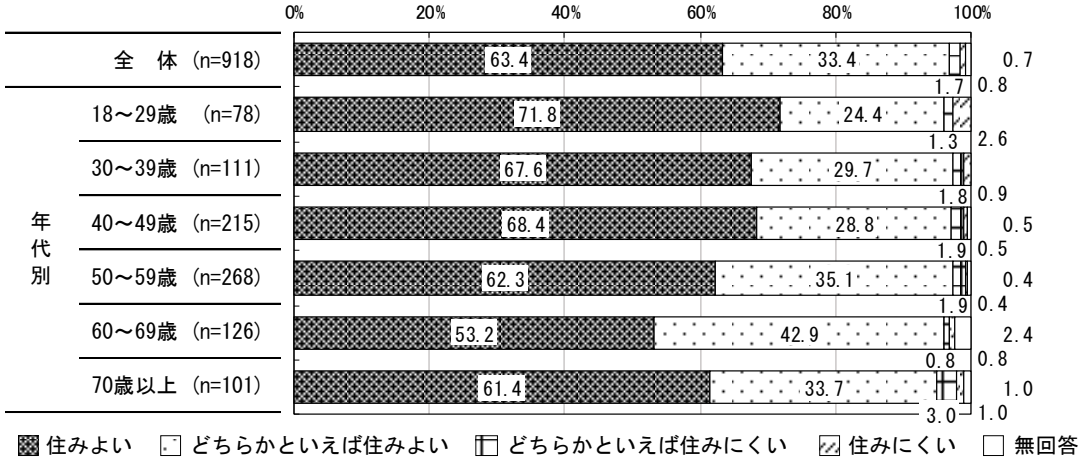
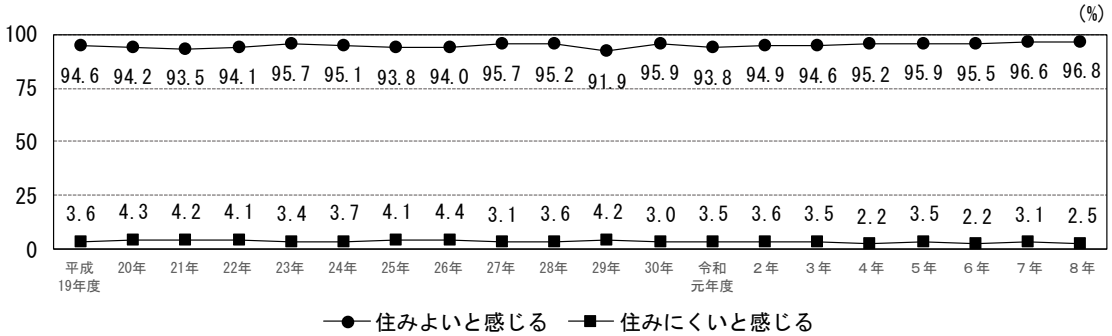


図３　住み心地（年度別）



【住まいの環境】について

■　身近な住まいの環境についての感想（n=918）

「非常に良い」と「まあよい」を合わせた『よいと感じる』住まいの環境は、「緑の豊かさ」、「日常の買い物の便」、「風通し、日当たり」の順になっている。「非常に悪い」と「あまりよくない」を合わせた『よくないと感じる』住まいの環境は、「蚊やハエの発生の防止」、「騒音や振動の防止」、「交通の便」の順になっている。

図４　住まいの環境

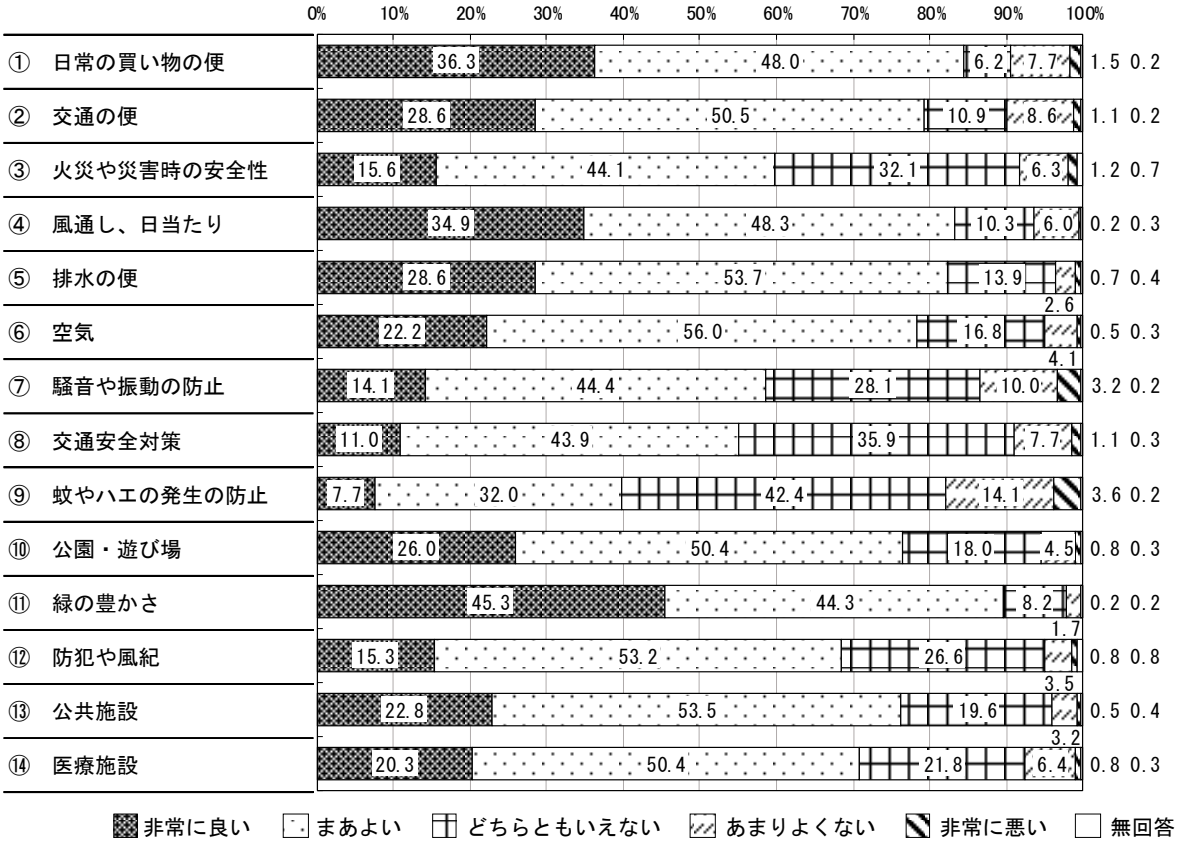


表１　住まいの環境（順位）

≪『よいと感じる』順≫　　(%)

順位	住まいの環境	よいと感じる
１位	⑪ 緑の豊かさ	89.6
２位	① 日常の買い物の便	84.3
３位	④ 風通し、日当たり	83.2
４位	⑤ 排水の便	82.3
５位	② 交通の便	79.1
６位	⑥ 空気	78.2
７位	⑩ 公園・遊び場	76.4
８位	⑬ 公共施設	76.3
９位	⑭ 医療施設	70.7
10位	⑫ 防犯や風紀	68.5
11位	③ 火災や災害時の安全性	59.7
12位	⑦ 騒音や振動の防止	58.5
13位	⑧ 交通安全対策	54.9
14位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	39.7

≪『よくないと感じる』順≫　　(%)

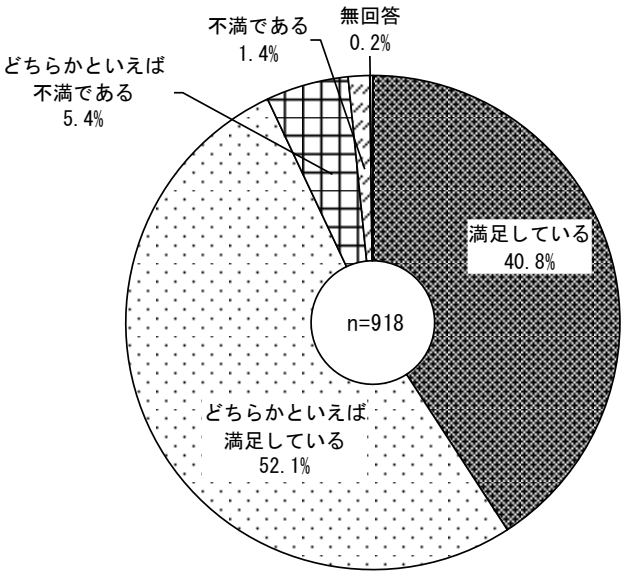
順位	住まいの環境	よくないと感じる
１位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	17.7
２位	⑦ 騒音や振動の防止	13.2
３位	② 交通の便	9.7
４位	① 日常の買い物の便	9.2
５位	⑧ 交通安全対策	8.8
６位	③ 火災や災害時の安全性	7.5
７位	⑭ 医療施設	7.2
８位	④ 風通し、日当たり	6.2
９位	⑩ 公園・遊び場	5.3
10位	⑥ 空気	4.6
11位	⑫ 防犯や風紀	4.3
12位	⑬ 公共施設	3.7
13位	⑤ 排水の便	3.3
14位	⑪ 緑の豊かさ	1.9

【生活の満足度】について

■　現在の生活にどの程度満足しているか（n=918）

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、９割以上が『生活に満足している』と感じている。

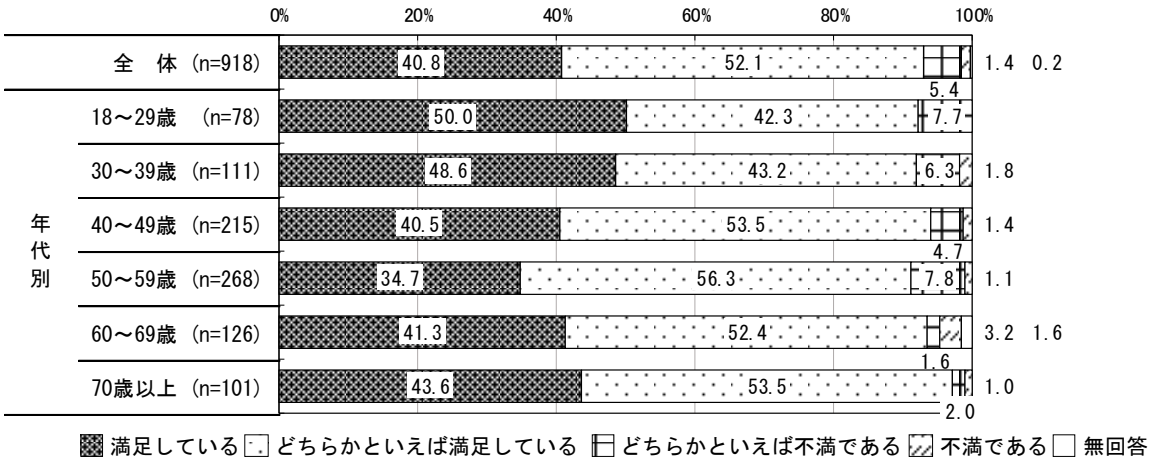
図５　生活の満足度



「満足している」(40.8%) と「どちらかといえば満足している」(52.1%) を合わせた『満足と感じている』(92.9%) 割合は、９割強となっている。一方、「不満である」(1.4%) と「どちらかといえば不満である」(5.4%) を合わせた『不満と感じている』(6.8%) 割合は、１割未満となっている。

年代別にみると、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足と感じている』割合は、「70 歳以上」(97.1%) で最も高く、「50～59 歳」(91.0%) で最も低くなっている。

図６　生活の満足度（年代別）

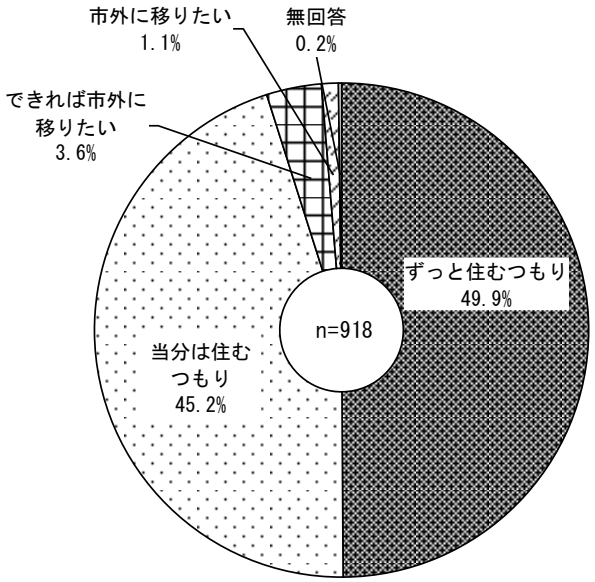


【定住意向】について

■　今後も府中市に住み続けたいと思うか（n=918）

「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせると、９割半ばが『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。

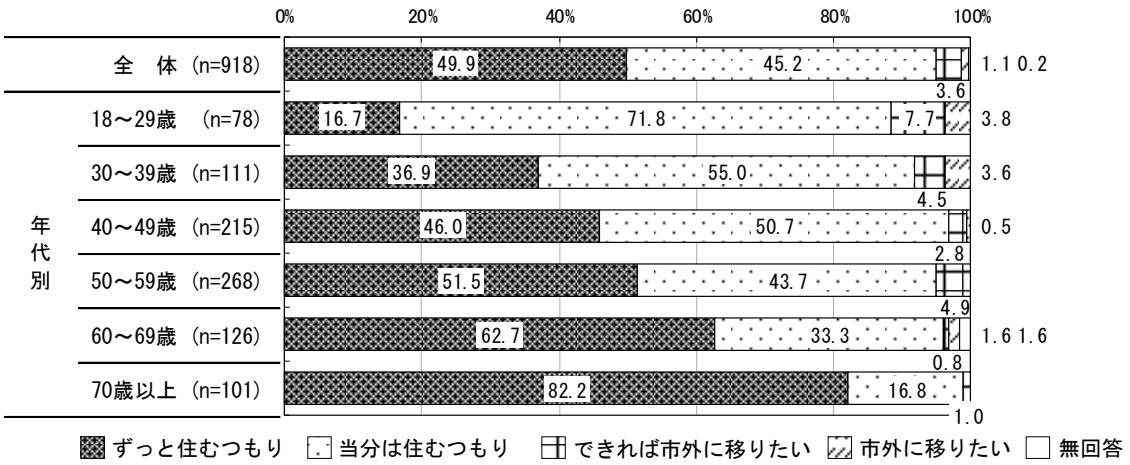
図７　定住意向



「ずっと住むつもり」(49.9%) と「当分は住むつもり」(45.2%) を合わせた『住み続けたいと感じている』(95.1%) 割合は、９割半ばとなっている。一方、「市外に移りたい」(1.1%) と「できれば市外に移りたい」(3.6%) を合わせた『市外に移りたいと感じている』(4.7%) 割合は、１割未満となっている。

年代別にみると、「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、「70 歳以上」(99.0%) で最も高く、「18～29 歳」(88.5%) で最も低くなっている。

図８　定住意向（年代別）

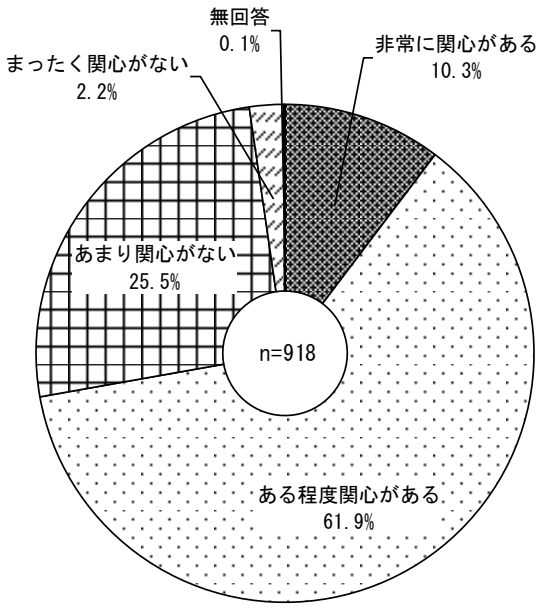


【市政に関する関心度】について

■　市政にどの程度関心を持っているか（n=918）

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、７割以上が市政に関心を持っている。

図９　市政に関する関心度

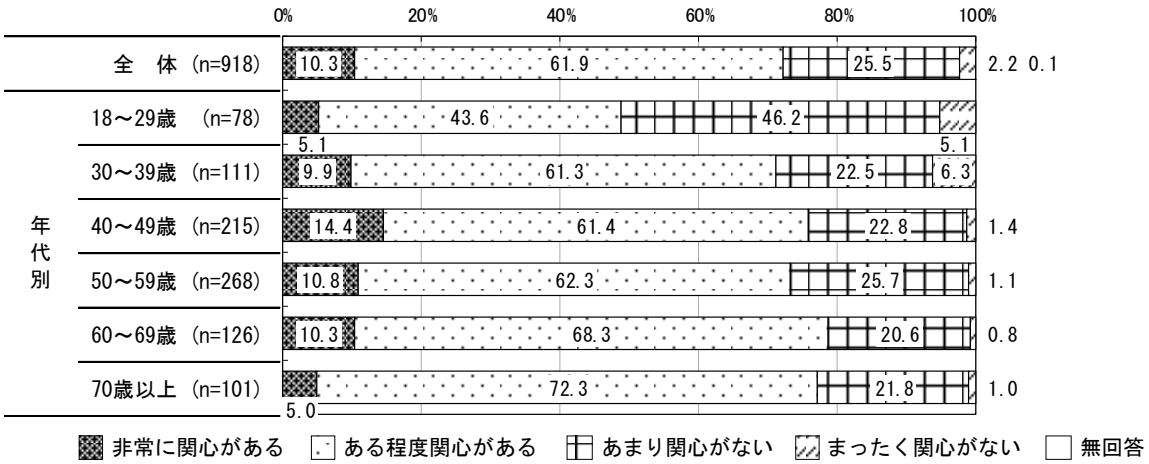


市政に関する関心度について、「非常に関心がある」(10.3%) と「ある程度関心がある」(61.9%) を合わせた『市政に関心がある』(72.2%) 割合は、７割強となっている。

一方、「まったく関心がない」(2.2%) と「あまり関心がない」(25.5%) を合わせた『市政に関心がない』(27.7%) 割合は、３割近くとなっている。

年代別にみると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「60～69 歳」(78.6%) で最も高く、「18～29 歳」(48.7%) で最も低くなっている。

図10　市政に関する関心度（年代別）

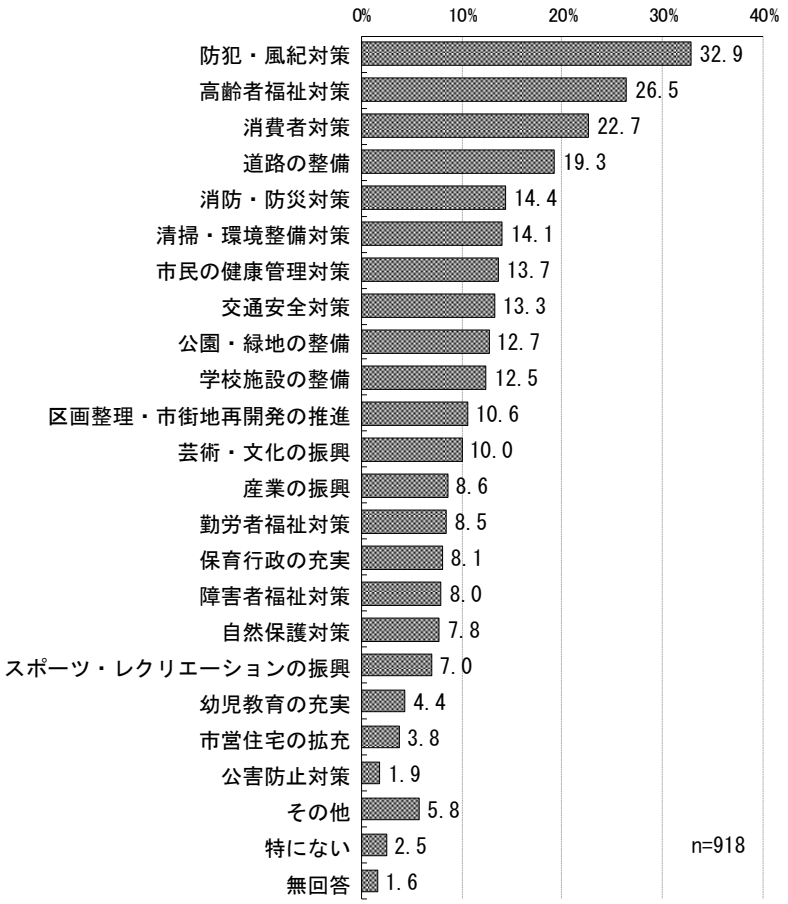


【市への要望】について

■　府中市に対してこれから特に力を入れてほしいこと（n=918：複数回答）

市への要望は、「防犯・風紀対策」（32.9%）が最も高く、続いて「高齢者福祉対策」（26.5%）、「消費者対策」（22.7%）、「道路の整備」（19.3%）の順となっている。

図11　市への要望



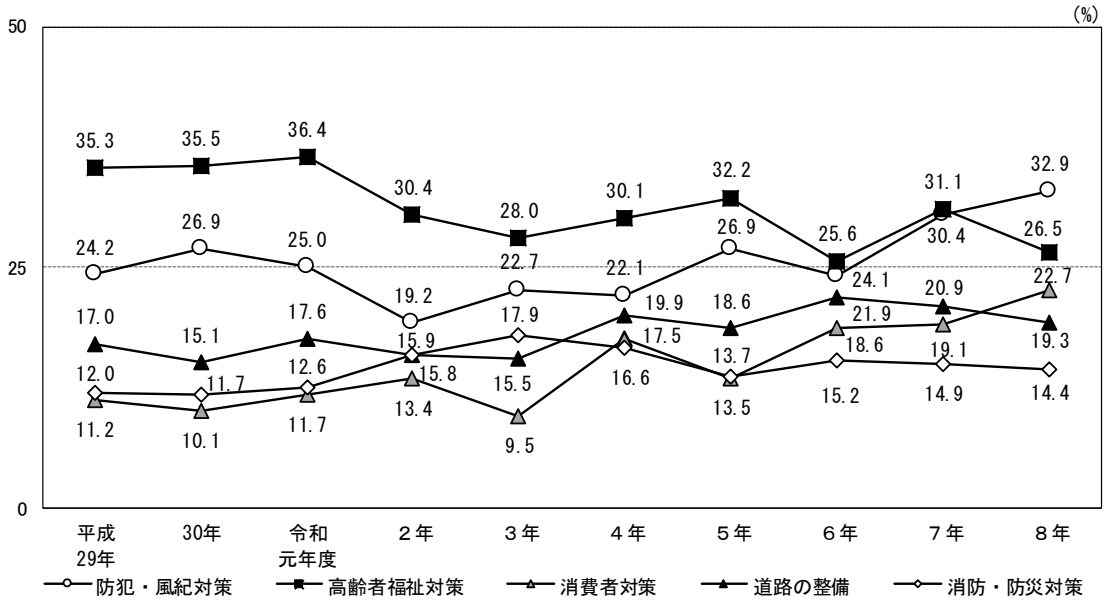
上位５項目について平成 29 年度からの順位変動をみると、「防犯・風紀対策」が１位、「高齢者福祉対策」が２位となるのは今年度が初めてとなっている。３位の「消費者対策」は令和７年度までと比べて順位を上げている。４位の「道路の整備」は平成 29 年度から常に上位５位に入っている。５位の「消防・防災対策」は令和２年度から常に上位５位に入っている。

表２　市への要望　上位５項目（年度別）

(%)

	n	１位	２位	３位	４位	５位
令和８年度	918	防犯・風紀対策 32.9	高齢者福祉対策 26.5	消費者対策 22.7	道路の整備 19.3	消防・防災対策 14.4
７年	879	高齢者福祉対策 31.1	防犯・風紀対策 30.4	道路の整備 20.9	消費者対策 19.1	消防・防災対策 14.9
６年	821	高齢者福祉対策 25.6	防犯・風紀対策 24.1	道路の整備 21.9	消費者対策 18.6	消防・防災対策 15.2
５年	914	高齢者福祉対策 32.2	防犯・風紀対策 26.9	道路の整備 18.6	公園・緑地の整備 13.9	消防・防災対策 13.7
４年	845	高齢者福祉対策 30.1	防犯・風紀対策 22.1	道路の整備 19.9	消費者対策 17.5	消防・防災対策 16.6
３年	845	高齢者福祉対策 28.0	防犯・風紀対策 22.7	市民の健康管理対策 18.0	消防・防災対策 17.9	道路の整備 15.5
２年	900	高齢者福祉対策 30.4	防犯・風紀対策 19.2	市民の健康管理対策 18.0	道路の整備 15.9	消防・防災対策 15.8
元年	992	高齢者福祉対策 36.4	防犯・風紀対策 25.0	道路の整備 17.6	交通安全対策 17.1	市民の健康管理対策 16.3
平成30年度	1021	高齢者福祉対策 35.5	防犯・風紀対策 26.9	市民の健康管理対策 17.8	学校施設の整備 15.3	道路の整備/清掃・環境整備対策 15.1
29年	1103	高齢者福祉対策 35.3	防犯・風紀対策 24.2	市民の健康管理対策 17.4	道路の整備 17.0	保育行政の充実 15.4

図12　市への要望　上位５項目（年度別）

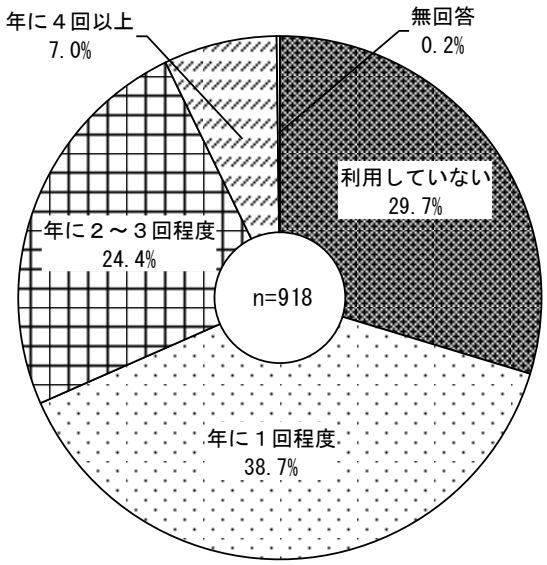


【役所窓口の開庁時間】について

■　１年間の窓口の利用回数（n=918）

１年間の窓口の利用回数は、「年に１回程度」（38.7%）が最も高く、続いて「利用していない」（29.7%）、「年に２～３回程度」（24.4%）の順となっている。

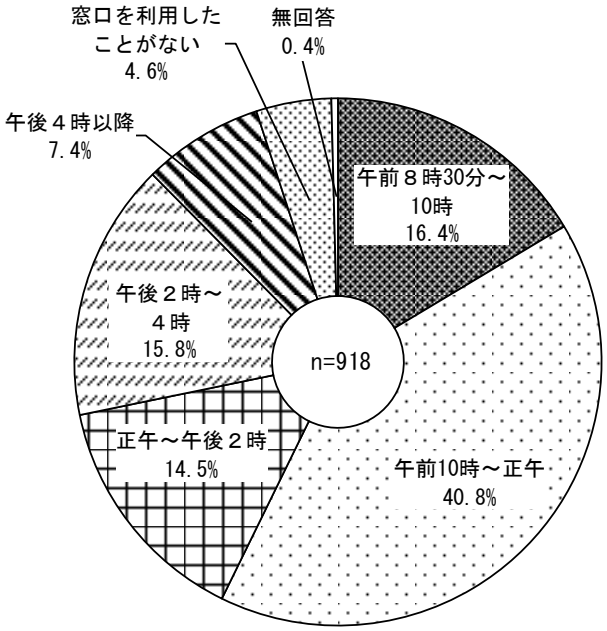
図13　１年間の窓口の利用回数



■　窓口を利用する主な時間帯（n=918）

窓口を利用する主な時間帯は、「午前 10 時～正午」（40.8%）が約４割と最も高く、続いて「午前８時 30 分～10 時」（16.4%）、「午後２時～４時」（15.8%）の順となっている。

図14　窓口を利用する主な時間帯

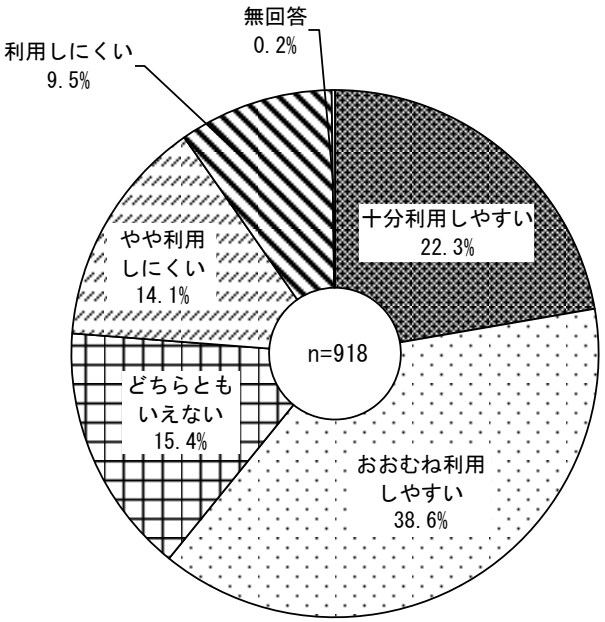


■　窓口開庁時間の利用のしやすさ（n=918）

窓口開庁時間の利用のしやすさは、「十分利用しやすい」（22.3%）と「おおむね利用しやすい」（38.6%）を合わせた『利用しやすい』（60.9%）割合は、約６割となっている。

一方、「利用しにくい」(9.5%)と「やや利用しにくい」(14.1%)を合わせた『利用しにくい』(23.6%)割合は、２割強となっている。

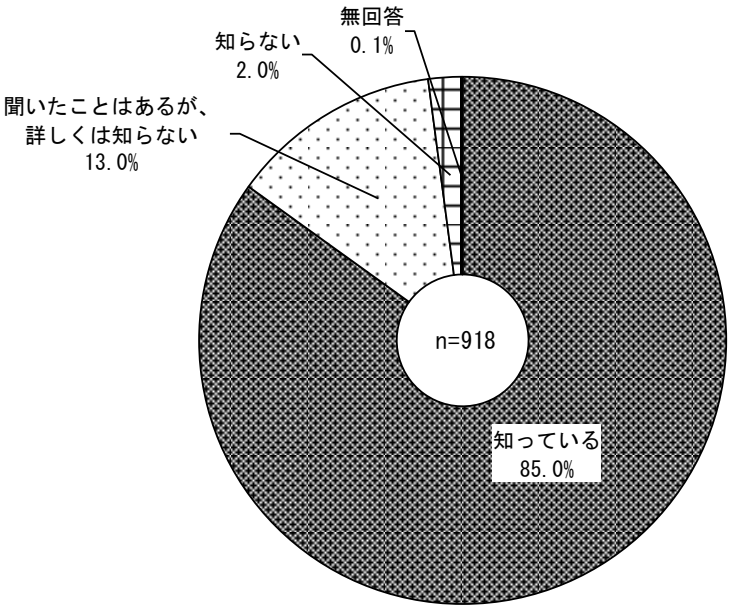
図15　窓口開庁時間の利用のしやすさ



■　コンビニ交付サービスの認知度（n=918）

コンビニ交付サービスの認知度は、「知っている」（85.0%）が８割半ばと最も高く、続いて「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」（13.0%）、「知らない」（2.0%）の順となっている。

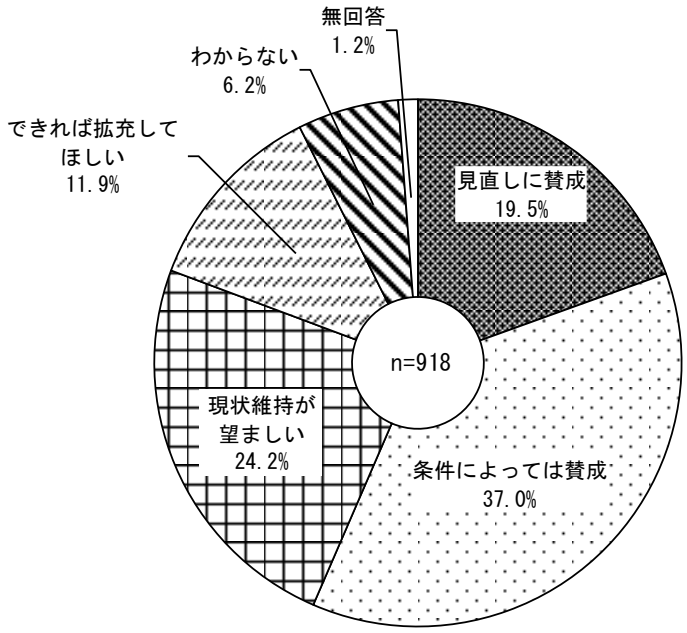
図16　コンビニ交付サービスの認知度



■　窓口開庁時間の見直しへの考え（n=918）

窓口開庁時間の見直しへの考えは、「条件によっては賛成」（37.0%）が最も高く、続いて「現状維持が望ましい」（24.2%）、「見直しに賛成」（19.5%）の順となっている。

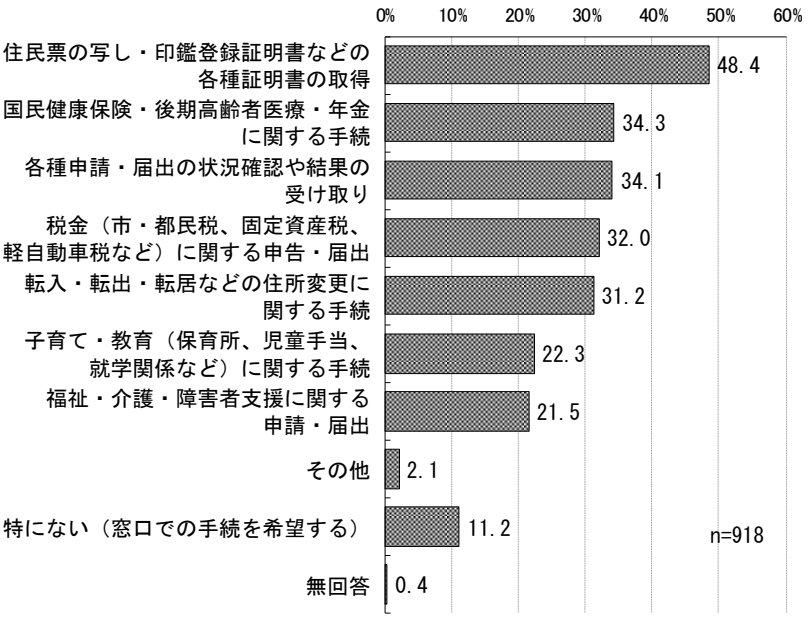
図17　窓口開庁時間の見直しへの考え



■　オンラインや郵送等でできたらよいと思う手続（n=918：複数回答）

オンラインや郵送等でできたらよいと思う手続は、「住民票の写し・印鑑登録証明書などの各種証明書の取得」（48.4%）が最も高く、続いて「国民健康保険・後期高齢者医療・年金に関する手続」（34.3%）、「各種申請・届出の状況確認や結果の受け取り」（34.1%）の順となっている。

図18　オンラインや郵送等でできたらよいと思う手続



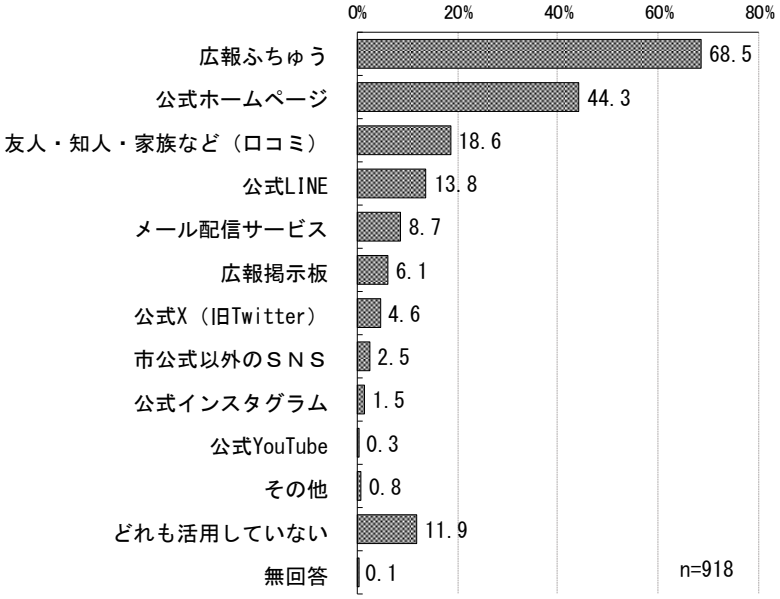
【行政情報の取得手段】について

■　行政情報の取得手段として活用しているもの（n=918：複数回答）

行政情報の取得手段として活用しているものは、「広報ふちゅう」（68.5%）が最も高く、続いて「公式ホームページ」（44.3%）、「友人・知人・家族など（口コミ）」（18.6%）の順となっている。

一方、「どれも活用していない」（11.9%）は１割強となっている。

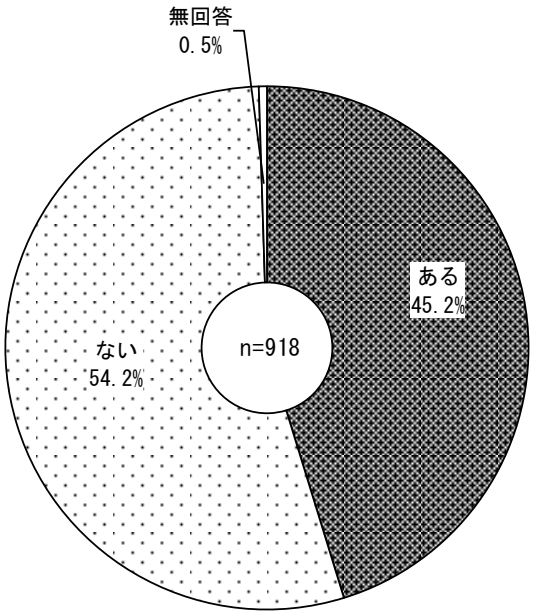
図19　行政情報の取得手段として活用しているもの



■　「広報ふちゅう」の特集記事の閲読状況（n=918）

「広報ふちゅう」の特集記事の閲読状況は、「ない」（54.2%）が５割半ばとなっている。

図20　「広報ふちゅう」の特集記事の閲読状況

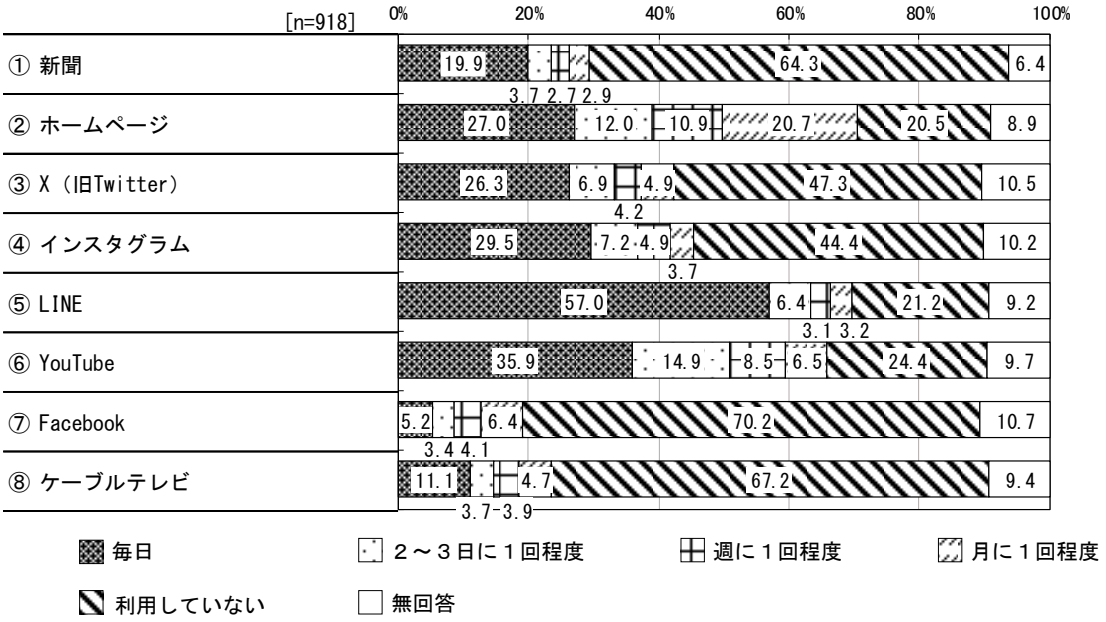


■　情報媒体の利用頻度（n=918）

各情報媒体の利用頻度について、「毎日」は「LINE」(57.0%)で６割近くと最も高く、続いて「YouTube」(35.9%)、「インスタグラム」(29.5%) の順となっている。

一方、「利用していない」は「Facebook」(70.2%)、「ケーブルテレビ」(67.2%)、「新聞」(64.3%)の順となっている。

図21　情報媒体の利用頻度

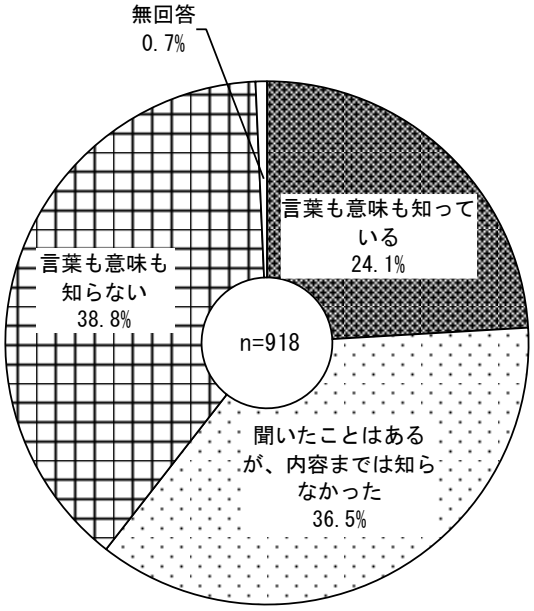


【市民協働の更なる推進】について

■　「協働」という言葉の認知度（n=918）

「協働」の認知度については、「言葉も意味も知らない」（38.8%）、「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」（36.5%）、「言葉も意味も知っている」（24.1%）の順となっている。

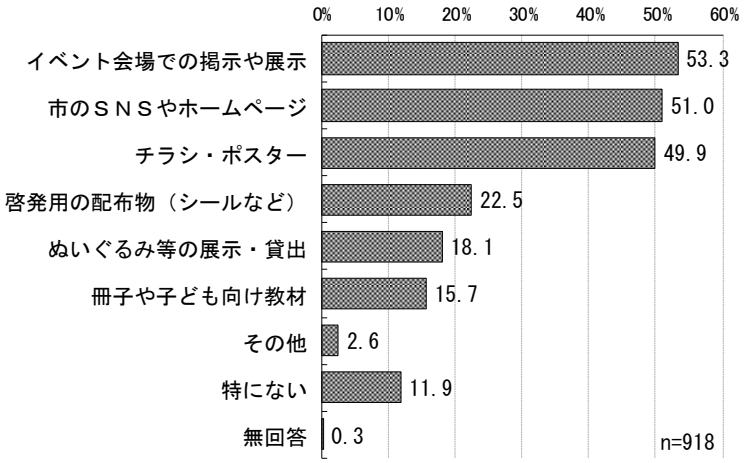
図22　「協働」という言葉の認知度



■　市民協働推進キャラクター「きょうちゃん・どうちゃん」が印象に残りやすい市の広報や啓発での活用方法（n=918：複数回答）

「きょうちゃん・どうちゃん」が印象に残りやすい活用方法については、「イベント会場での掲示や展示」（53.3%）、「市のＳＮＳやホームページ」（51.0%）、「チラシ・ポスター」（49.9%）の順となっている。

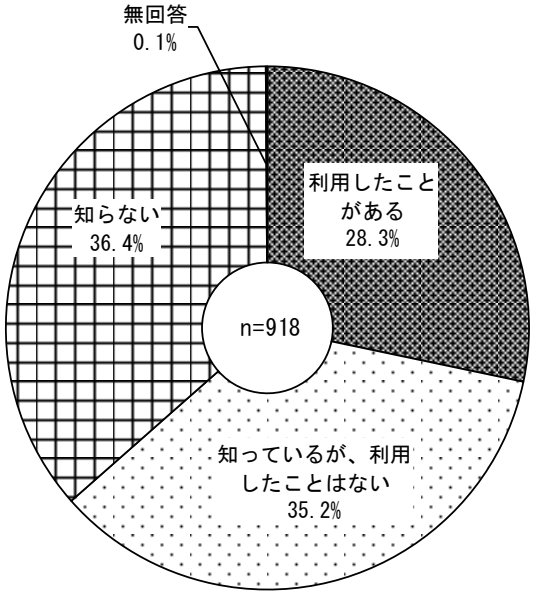
図23　市民協働推進キャラクター「きょうちゃん・どうちゃん」が印象に残りやすい市の広報や啓発での活用方法



■　「市民活動センタープラッツ」の利用の有無（n=918）

「市民活動センタープラッツ」の利用の有無は、「知らない」（36.4%）、「知っているが、利用したことはない」（35.2%）、「利用したことがある」（28.3%）の順となっている。

図24　「市民活動センタープラッツ」の利用の有無

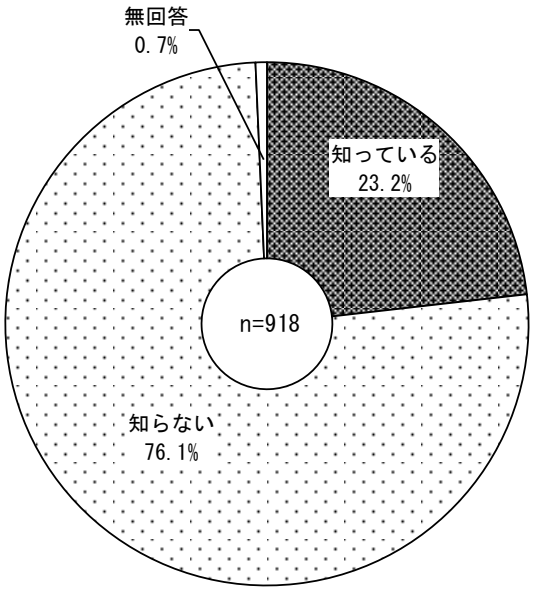


【犯罪被害者の支援】について

■　犯罪被害者や家族に対する国や都道府県が実施する支援等の認知度（n=918）

犯罪被害者や家族への支援等の認知度については、「知らない」(76.1%) が８割近くとなっている。

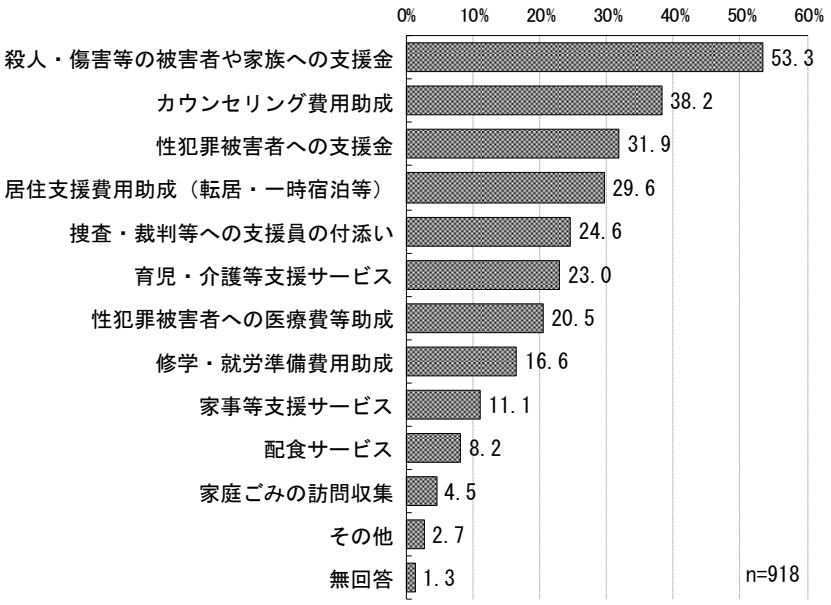
図25　犯罪被害者や家族に対する国や都道府県が実施する支援等の認知度



■　犯罪被害者等支援を進めるにあたって重要だと思う支援メニュー（n=918：複数回答）

犯罪被害者等支援で重要だと思う支援メニューは、「殺人・傷害等の被害者や家族への支援金」(53.3%) が最も高く、続いて「カウンセリング費用助成」(38.2%)、「性犯罪被害者への支援金」(31.9%) の順となっている。

図26　犯罪被害者等支援を進めるにあたって重要だと思う支援メニュー



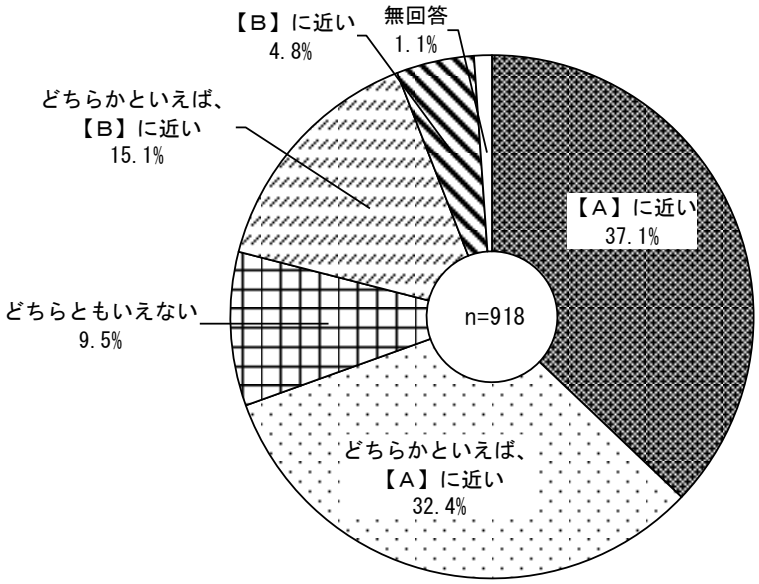
■　市独自の支援メニューへの考え（n=918）

犯罪被害者等に対する市独自の支援メニューへの考えは、「【Ａ】に近い」（37.1％）と「どちらかといえば、【Ａ】に近い」（32.4％）を合わせた『【Ａ】に近い』（69.5％）の割合は７割弱となっている。一方、「【Ｂ】に近い」（4.8％）と「どちらかといえば、【Ｂ】に近い」（15.1％）を合わせた『【Ｂ】に近い』（19.9％）の割合は２割弱となっている。

【Ａ】の考え：他自治体が未実施であっても、府中市が独自に支援を行うべきだ

【Ｂ】の考え：自治体により支援内容に差が生じないよう、他自治体と実施時期や内容を合わせるべきだ

図27　市独自の支援メニューへの考え

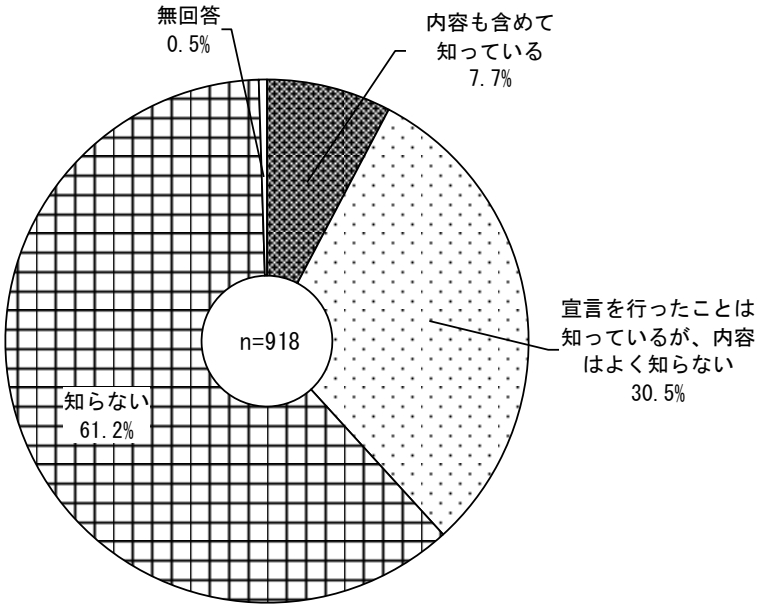


【平和啓発】について

■　「平和都市宣言」の認知度（n=918）

「平和都市宣言」の認知度は、「知らない」（61.2%）が最も高く、続いて「宣言を行ったことは知っているが、内容はよく知らない」（30.5%）、「内容も含めて知っている」（7.7%）の順となっている。

図28　「平和都市宣言」の認知度

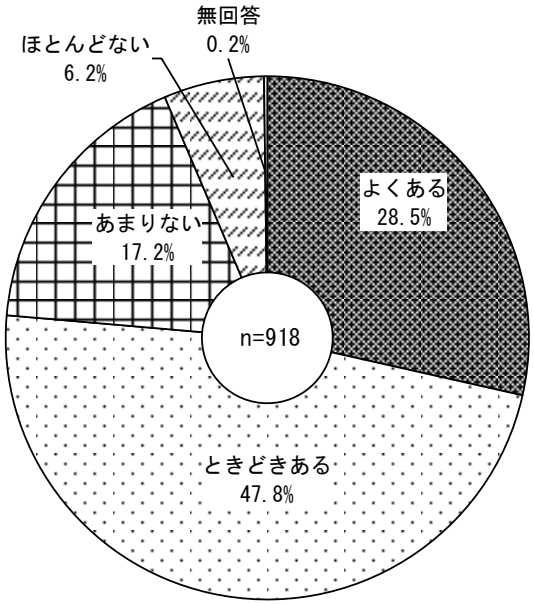


■　「平和」について考える頻度（n=918）

「平和」について考える頻度について、「よくある」（28.5%）と「ときどきある」（47.8%）を合わせた『ある』（76.3%）の割合は８割近くとなっている。

一方、「ほとんどない」（6.2%）と「あまりない」（17.2%）を合わせた『ない』（23.4%）の割合は２割強となっている。

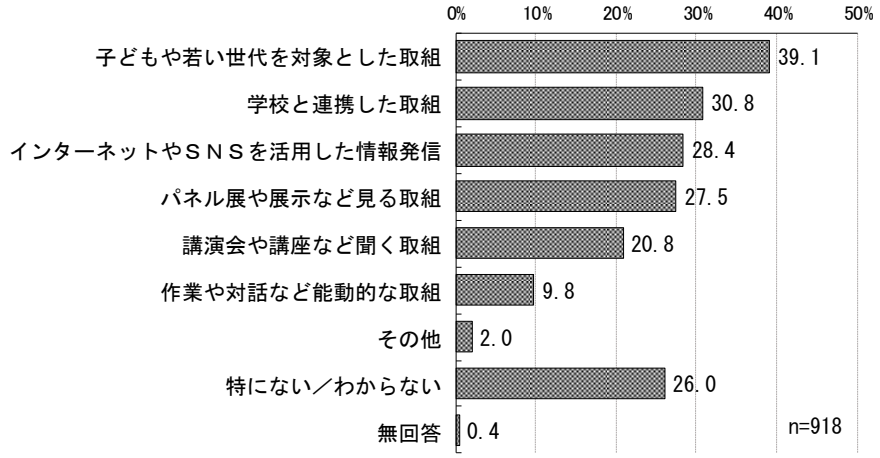
図29　「平和」について考える頻度



■　参加したい平和に関する取組（n=918：複数回答）

参加したい平和に関する取組については、「子どもや若い世代を対象とした取組」（39.1%）が最も高く、続いて「学校と連携した取組」(30.8%)、「インターネットやＳＮＳを活用した情報発信」(28.4%)の順となっている。

図30　参加したい平和に関する取組

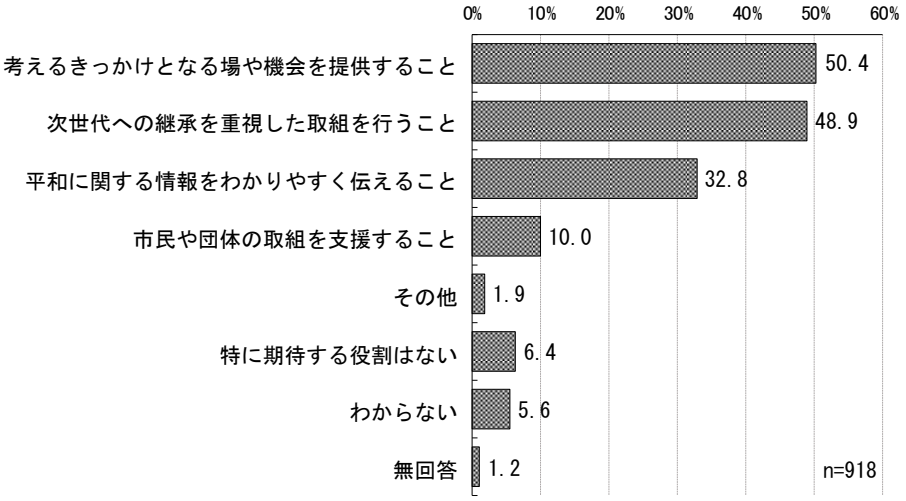


■　平和に関する取組における市に期待する役割（n=918：複数回答）

平和に関する取組で市に期待する役割は、「考えるきっかけとなる場や機会を提供すること」（50.4%）、「次世代への継承を重視した取組を行うこと」(48.9%)、「平和に関する情報をわかりやすく伝えること」（32.8%）の順となっている。

一方、「特に期待する役割はない」（6.4%）は１割未満となっている。

図31　平和に関する取組における市に期待する役割

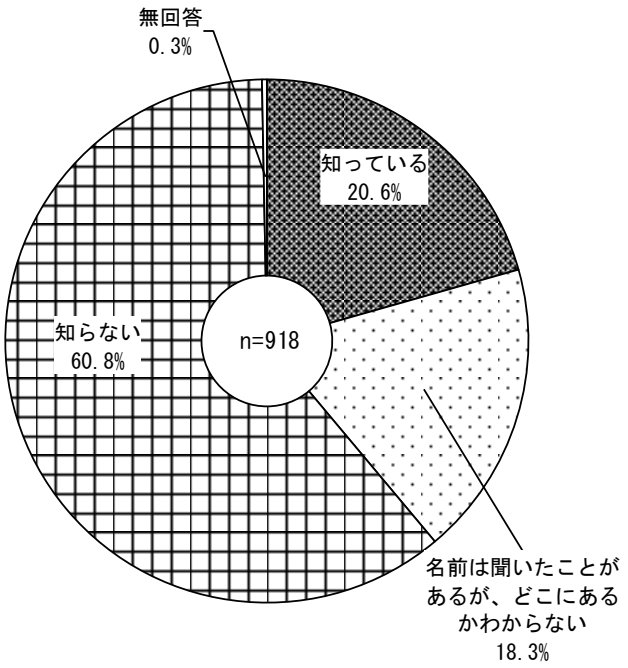


【男女共同参画社会】について

■　府中市男女共同参画センター「フチュール」の認知度（n=918）

「フチュール」の認知度は、「知らない」（60.8%）が約６割と最も高く、続いて「知っている」（20.6%）、「名前は聞いたことがあるが、どこにあるかわからない」（18.3%）の順となっている。

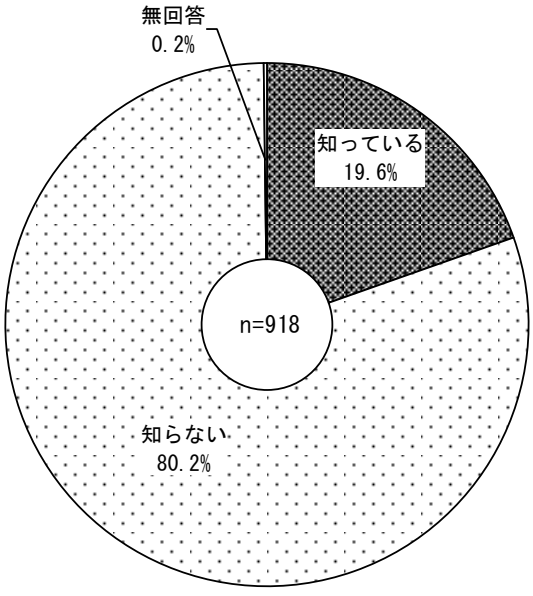
図32　府中市男女共同参画センター「フチュール」の認知度



■　「女性問題相談」の認知度（n=918）

「女性問題相談」の認知度は、「知らない」（80.2%）が約８割となっている。

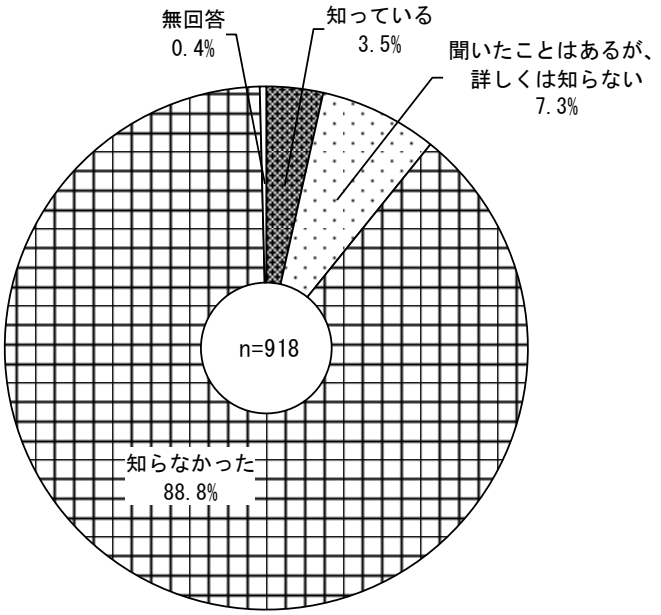
図33　「女性問題相談」の認知度



■　生理用ナプキンの無償配布の認知度（n=918）

生理用ナプキンの無償配布の認知度は、「知らなかった」（88.8%）が９割近くと最も高く、続いて「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」（7.3%）、「知っている」（3.5%）の順となっている。

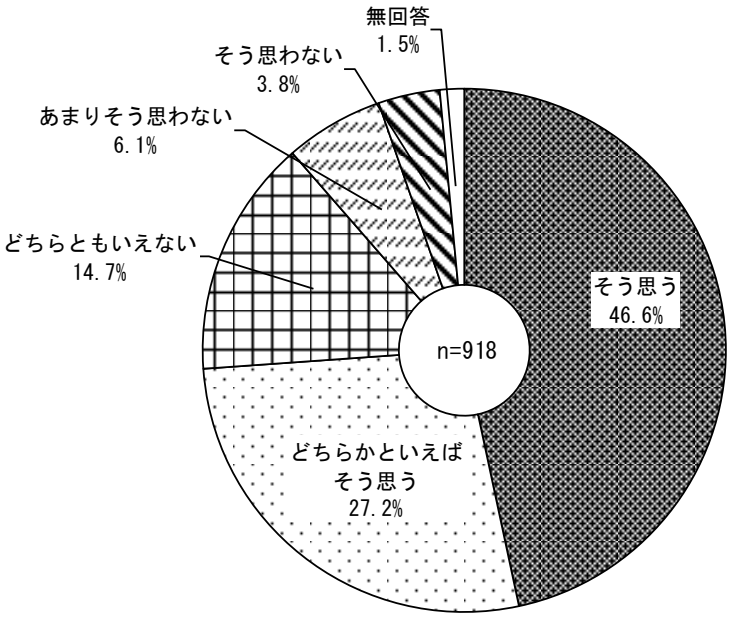
図34　生理用ナプキンの無償配布の認知度



■　生理用ナプキンの無償配布は安心して生活する上で必要な取組だと思うか（n=918）

生理用ナプキンの無償配布は安心して生活する上で必要な取組だと思うかは、「そう思う」（46.6%）と「どちらかといえばそう思う」（27.2%）を合わせた『そう思う』（73.8%）割合は７割強となっている。一方、「そう思わない」（3.8%）と「あまりそう思わない」（6.1%）を合わせた『そう思わない』（9.9%）割合は１割未満となっている。

図35　生理用ナプキンの無償配布は安心して生活する上で必要な取組だと思うか



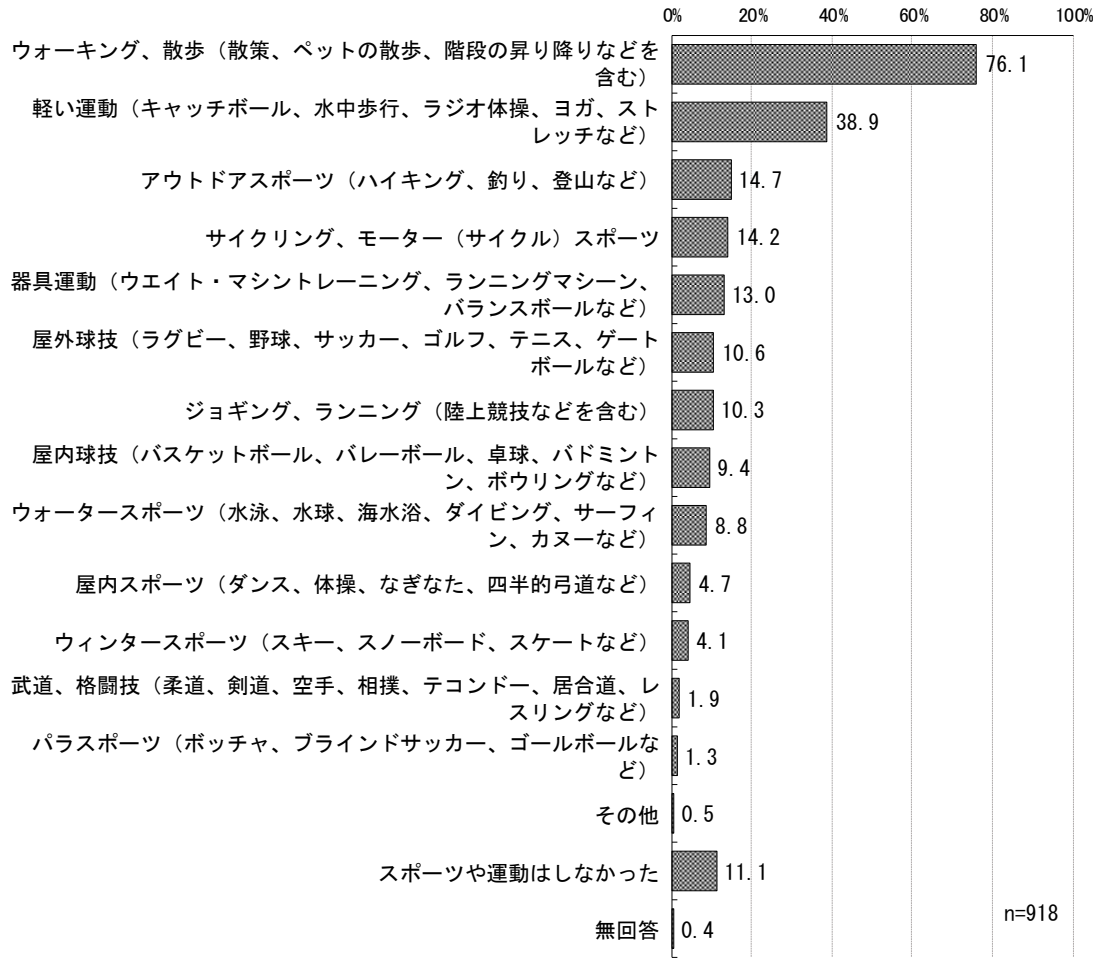
【スポーツ・運動】について

■　１年間に行ったスポーツや運動（n=918：複数回答）

１年間に行ったスポーツや運動については、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、階段の昇り降りなどを含む)」(76.1%）が８割近くと最も高く、続いて「軽い運動（キャッチボール、水中歩行、ラジオ体操、ヨガ、ストレッチなど)」(38.9%)、「アウトドアスポーツ（ハイキング、釣り、登山など)」(14.7%）の順となっている。

なお、１年間に行ったスポーツや運動の頻度が「１週間に１回以上」は 66.2%となっている。

図36　１年間に行ったスポーツや運動

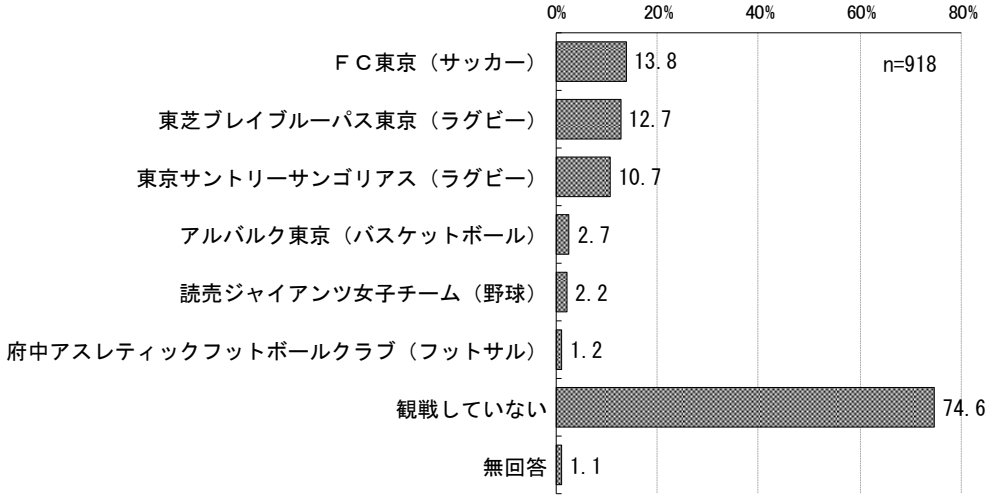


■　１年間で観戦した、府中市を拠点に活動するトップチーム（n=918：複数回答）

１年間で観戦した、府中市を拠点に活動するトップチームは、「ＦＣ東京（サッカー）」（13.8%）、「東芝ブレイブルーパス東京（ラグビー）」（12.7%）、「東京サントリーサンゴリアス（ラグビー）」（10.7%）の順となっている。

一方、「観戦していない」（74.6%）は７割半ばとなっている。

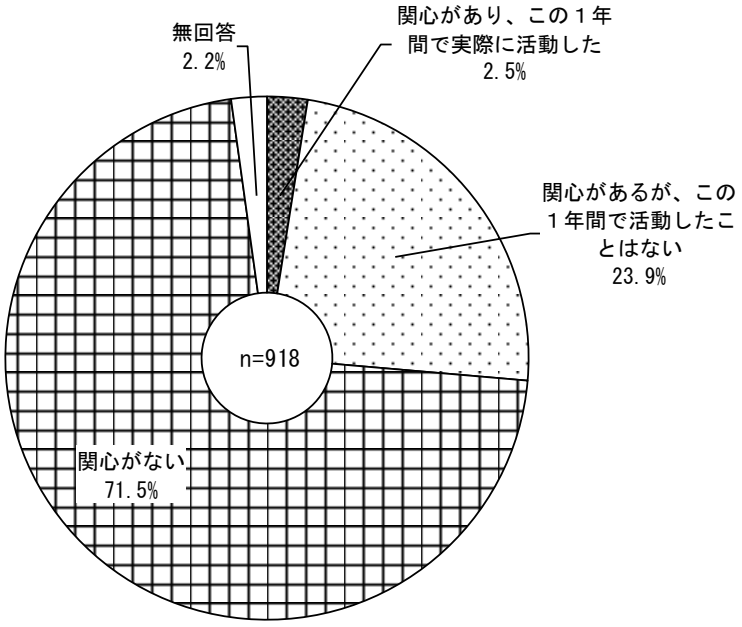
図37　１年間で観戦した、府中市を拠点に活動するトップチーム



■　スポーツに関するボランティアにおける考えと活動状況（n=918）

スポーツに関するボランティアにおける考えと活動状況は、「関心がない」（71.5%）が７割強と最も高く、続いて「関心があるが、この１年間で活動したことはない」（23.9%）、「関心があり、この１年間で実際に活動した」（2.5%）の順となっている。

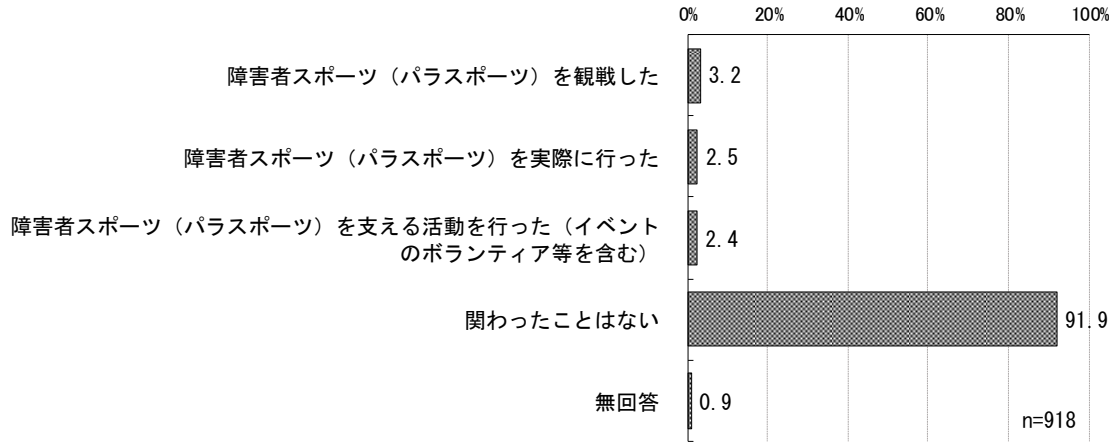
図38　スポーツに関するボランティアにおける考えと活動状況



■　障害者スポーツ（パラスポーツ）に関わった経験（n=918：複数回答）

障害者スポーツ（パラスポーツ）に関わった経験は、「関わったことはない」（91.9%）が９割強となっている。

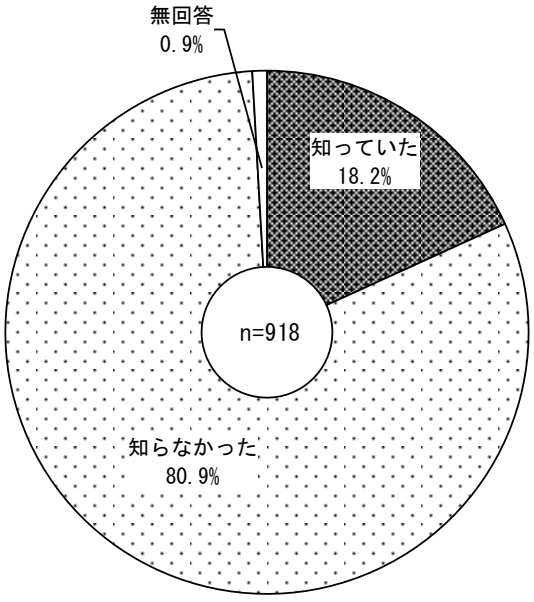
図39　障害者スポーツ（パラスポーツ）に関わった経験



■　郷土の森総合体育館の移転予定の認知度（n=918）

郷土の森総合体育館の移転予定の認知度は、「知らなかった」（80.9%）が約８割となっている。

図40　郷土の森総合体育館の移転予定の認知度

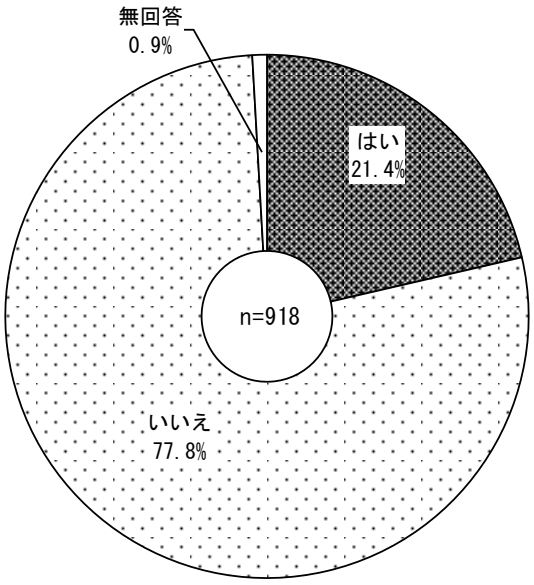


【府中基地跡地新公園】について

■　府中基地跡地新公園の認知度（n=918）

府中基地跡地新公園の認知度は、「いいえ」（77.8%）が８割近くとなっている。

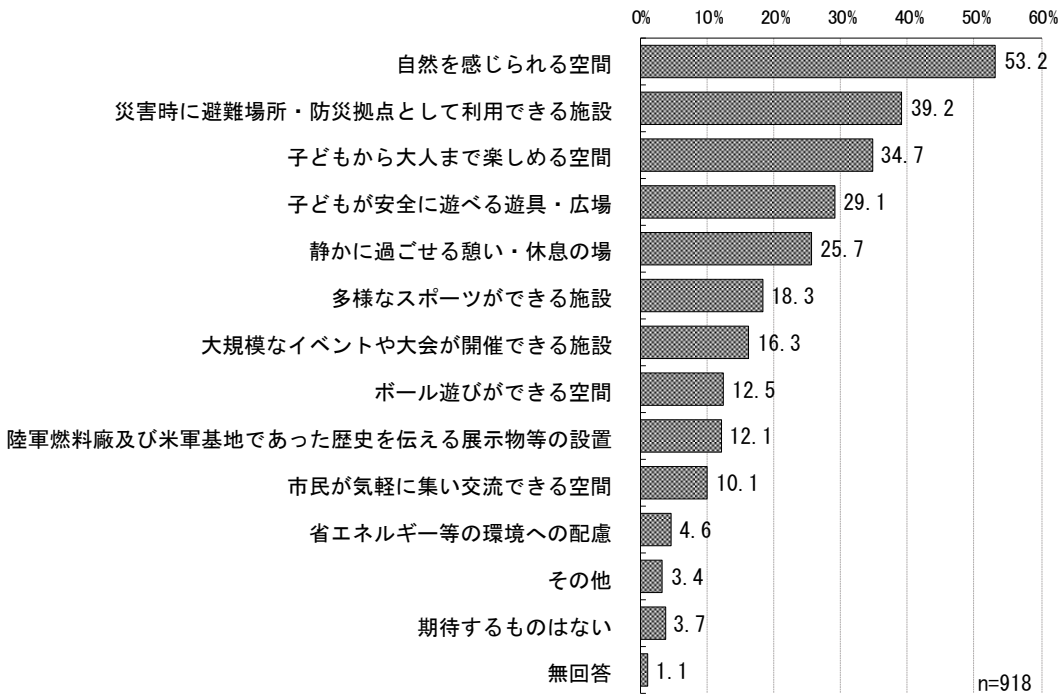
図41　府中基地跡地新公園の認知度



■　府中基地跡地新公園に期待するもの（n=918：複数回答）

府中基地跡地新公園に期待するものについては、「自然を感じられる空間」（53.2%）が最も高く、続いて「災害時に避難場所・防災拠点として利用できる施設」（39.2%）、「子どもから大人まで楽しめる空間」（34.7%）の順となっている。一方、「期待するものはない」（3.7%）は１割未満となっている。

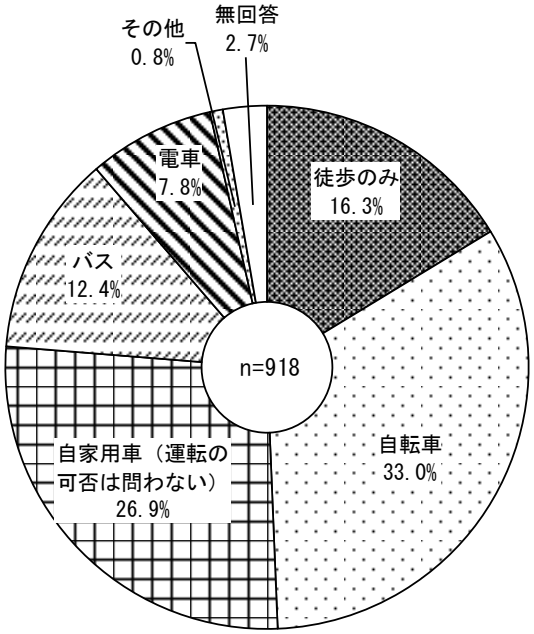
図42　府中基地跡地新公園に期待するもの



■　府中基地跡地新公園を訪れる際の主な交通手段（n=918）

府中基地跡地新公園を訪れる際の主な交通手段については、「自転車」（33.0%）が最も高く、続いて「自家用車（運転の可否は問わない）」（26.9%）、「徒歩のみ」（16.3%）の順となっている。

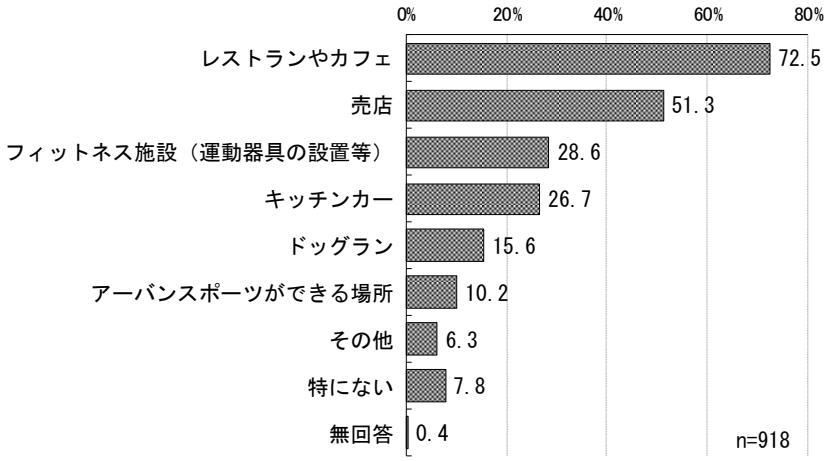
図43　府中基地跡地新公園を訪れる際の主な交通手段



■　府中基地跡地新公園にあったらよいと思う施設（n=918：複数回答）

府中基地跡地新公園にあったらよいと思う施設については、「レストランやカフェ」（72.5%）が最も高く、続いて「売店」（51.3%）、「フィットネス施設（運動器具の設置等）」（28.6%）の順となっている。一方、「特にない」（7.8%）は１割未満となっている。

図44　府中基地跡地新公園にあったらよいと思う施設





第５８回　府中市市政世論調査（概要版）

令和８年 10 月

発行：府中市市民協働推進部広聴相談課

東京都府中市宮西町二丁目 24 番地

Tel　042-366-1711

実施：株式会社タイム・エージェント

東京都渋谷区円山町６番８号

Tel　03-3770-6821